

4	世界三大宗教	学習日 月 日	名前
---	---------------	------------	----

キリスト教・イスラーム教・仏教を世界三大宗教といい、世界の人口の62%がいずれかの信者である。

宗教は神の存在の有無(無神教・有神教)や特定の開祖、教義、聖典の有無、信者の分布範囲(民族宗教・世界宗教)などの違いがみられる。なお、イスラーム教徒キリスト教はいずれもユダヤ教を母体とする宗教である。日本では特定の宗教を意識していない人も多いが、他国の宗教・信仰に関心を持ち、敬意を払うことがグローバル化の進む現代社会では必要なことの一つである。

1. キリスト教

① ユダヤ教の成立

絶対神(1)を信仰する一神教で、教典は(2 旧約聖書)
 「創世記」によれば、神が世界を創造し、その後アダムやイヴを作った。
 BC13c頃、(3)… 預言者(4)が指導
 → シナイ山で神から(5)を授かる = 律法(神との契約)の原点
 BU6c (6)…(7)の地から強制連行
 → 解放後、(8)に神殿を建設。ユダヤ教が成立
 最後の審判が行われる世界の終末に、(9)の後輪を待望

② キリスト教の成立

1cのパレスチナでイエスが創始
 ユダヤ教の戒律主義を批判し、神の絶対愛と隣人愛の実線を説く
 イエスがイェルサレムで刑死後、彼を神の子(10 キリスト)とする信仰が成立
 教典は『旧約聖書』と(11)= イエスと使徒の言行録

③ キリスト教の分派

11c 西欧の(12)と東方の(13)に分裂
 16c 宗教改革が起こり、(14)諸宗派が成立

2. 仏教

① 仏教の成立

BC5c、(15)が創始、尊称: 仏陀
 現世は苦であり、八正道の実践による涅槃(解脱)を説く
 ※ (16)の思想 … 現世の業(カルマ = 行為)によって来世が決定

② 大乘仏教の成立

従来の仏教は出家と修行による個人の救済を重視 = (17)
 紀元前後、インド北西部を中心に大衆の救済を図る(18)が成立
 仏像とともに、中国・朝鮮・日本に伝播 → 北伝仏教とも呼ばれる

③ ヒンドゥー教の成立

古代インドのバラモン教に諸宗教・信仰が融合して成立
 特定の教義・教典はないが、(19)= 舞踏・破壊の神など3大神が人気
 現在のインドの人々の約 8 割が信仰
 牛を神聖視する、ガンジス川で沐浴を行うなどの風習を持つ

3. イスラーム教

① 成立

7cのアラビア半島でアラブ人が創始
 メッカの商人(20)が創始 = 「最後で最大の預言者」
 唯一絶対神(21)への絶対帰依、神の前の平等を説く
 教典:(22)= コーラン
 ユダヤ教徒やキリスト教徒を「啓典の民」とみなす → 納税により信仰を保証
 (23)= 信者には六信五行の義務
 豚を食すこと、飲酒、利子を取ることを禁止
 三大聖地 = (24)・メディナ・イェルサレム
 (25)= 聖戦 … 異教徒から信仰を守るための戦い

② 分派

(26)
 歴代のカリフを指導者として認める多数派(約 9 割)

(27)

アリーとその子孫の身を指導者と認める少数派(約 1 割)

③ 原理主義

本来の信仰の在り方に立ち返ろうとする立場

